

讀者がこのよき新しき年表を使用されることは切望に堪へない所である。

因に云ふ朝鮮には故和田博士在職時代より仁川觀測所編纂にかゝる日用便覽といふ小形の曆部、氣象部、地理部、雜部のある年表が發行されて居り、本年は其の第十七次のもので出て居る。この日用便覽の方は定價五十錢で、朝鮮在住者には甚だ便利なるものである。(新麗生)

質疑應答

問、ヨーロッパの運河網を描き之れにつきて知る所を記せ

答、歐羅巴は土地の平均高度僅に三百米に過ぎずして亞細亞の九八〇米(ベンク氏に依る)に比すればその三分の一以下である。而して全歐の大半は二百米以下の低地で、五百米を越ゆる地は僅に六分の一に過ぎない。高地はスコットランドからスカンデナヴィヤ半島に及ぶ北歐と、イベリヤ半島からアルプスを經てバルカン半島に及ぶ南歐とにあり、中歐には低山性の中帶山脈あれど概して平地が多い。而してこれ等の山地は幾多の河谷によりて切斷せられ、それ等の分水界は極めて低く地中海・黒海・裏海方面よりボスカヤ灣・イギリス海峡・北海・バルト海・白海方面に通ずる重要な通路をなしてゐる。ローヌ河セイヌ河ダンニユーブ河・ライン河及びエルベ河等の河谷は古くから利用された。第十七世紀の初め頃から盛に運河開鑿の事業が興つた

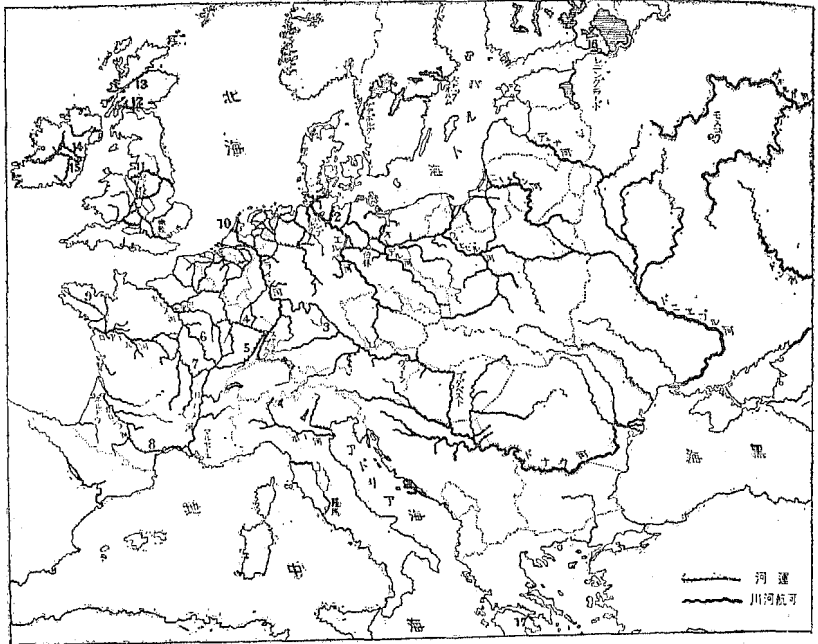
が、流速の緩、水量豊富、分水界の低きことは益々其の發展を促し、内地の人文發達に資する處が甚大であつた。現今に於てはフランス北部・東部・イングランドの南部・オランダ・獨逸北部等は運河の密度が甚だ大である。次表は主要諸國の水路の全長と運河の長さ及全長に對する運河の百分比を示したものである。

國名	水路全長(杆)	此中運河(杆)	百分比
フランス	一一四〇〇	八九一八	七八
イギリス	七五〇〇	五一三七	六九
オランダ	五二〇〇	三五六一	六九
ロシア	四三〇〇	一九六二	四五
ドイツ	一四七〇〇	六六〇二	四四
イタリヤ	二五〇〇	九二〇	三七
舊埃洪	六二〇〇	四八九	八
スウェーデン	六一〇〇	四七一	八

以上の中極めて重要なもの數個を説明せん。

(一)キール運河はキール港の北方よりエルベ河口に通ずるもので、長さ九九杆、巾一〇二米深さ一米に及び、一八九五年の開通にかゝる。バルト海より北海に通ずる最短航路として軍事・交通上の價值が甚だ多い。大戦後の條約によつて運河及其の入口は獨逸國と和親の一切の國の商船及軍艦の爲に全然均等の條件にて開放せられ、且つ常に自由たるべきことを規約せられた。

(二)ルドウィヒ運河はライン河の一支マイン川の一支流レグニ



歐洲可航河川及運河圖

- | | |
|--------------|----------------|
| 1、キール運河 | 2、エルベートラプ運河 |
| 3、ルドウイヒ運河 | 4、マルヌーライン運河 |
| 5、ダウプラーイン運河 | 6、ブルグन्द運河 |
| 7、セントラル運河 | 8、ミザ運河 |
| 9、プレスト運河 | 10、北海運河 |
| 11、マンチエスター運河 | 12、クライドーフオース運河 |
| 13、カレドニヤ運河 | 14、ローヤル運河 |
| 15、グラन्द運河 | 16、モルスエイ運河 |
| 17、コリント運河 | |

ツよりフランコニヤユラ山脈を切開してダニユープ河の一支アルトミユール川に通ずるもので北海方面と黒海・地中海方面との交通上極めて重要なものである。

(三)ライン・ローヌ・ロアル・セイヌ・シエルト諸河の本支流を連れる運河は其數甚だ多く、マルヌーライン運河及ダウプラーイン運河はセイヌ盆地・ローヌ谿谷及ライン谿谷を連れる運河で共にストラスブルグ市に於て相合してゐる。ブルグन्द運河はセイヌ河とローヌ河を、セントラル運河はローヌ河とロアル河を連れる。其他モ一セル・マース・シエルトの諸河にはセイヌ河の諸支流又はソムム河等との間に幾多の運河があつて佛國の東北部は甚だ運河網の密度大である。

(四)ミザ運河は佛國中史高地とピレネー山脈との間にあつてガロンヌ河上流と地中海沿岸とを連れる運河で、

地中海沿岸のアグド港より更に海岸に沿ひてローヌ河下流に通ずる運河がある。

(五)北海運河はゾイテル海の阿姆斯特ダム港より西して北海に通じ、延長二六・五軒、巾二六米、深七米で一八七六年の開通にかゝる。其他和蘭及自耳義北部には多くの運河がある。

(六)英吉利の英蘭の南方にはティムス・セバーン・ハンパー諸河の本支流の間に運河の通ぜるものが多い。有名なるマンチエスター運河は一八九四年の開通にかゝり、延長五七軒、巾三六・六米、深七・九米であつてマンチエスター市とリバプール港とを連れる。スコットランドにはフアースクライド運河・カレドニヤ運河(一二軒)があり、有名なるグラスゴー市は前者に沿ふ。愛蘭にはダブリン港より西するローヤル運河及グラランド運河等がある。

(七)ロシア及其の四近の大河及湖沼は運河にて連結さるゝもの多く、モルスコイ運河はクロンスタットとレニングラードとを連れ、更にネバ河によりて内地の大湖と相通じ、オネガ・ドビナ及ボルガ等の諸大河と連絡し、エカテリン運河はボルガ河及ドビナ河を連れる。ドニエプル河の上流はヂェーナ・ニーマン・ウイストチウラ諸河を以てそれらと相連る。其他スウエーデンの首都ストックホルムよりは幾多の湖沼と水路を利用してカネガット海峡のゲーテボルグ港に通ずる運河がある。

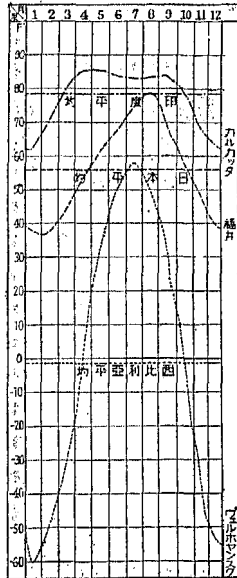
(八)南部歐羅巴にてはイベリヤ半島のエプロ河下流イタリヤ半島のポー河下流及タイパー河とアルノ河の上流、ハンガリヤ平原及バルカン半島の南端にあるコリント運河等の外著名なる

ものはない。

間、日本、印度、シベリヤに於ける全年の氣温の變化

答、本問の主眼點は海洋の影響ある温帯、高緯度地方の大陸及び熱帯の全年の氣温の變化を説明するにあり。

一、圖表(グラフ)を以て示す)



二、其の特色 今三地方の氣温變化の狀を説明するに、印度に於てはカルカッタ、西比利亞に於てはヴエルホヤンスク、日本に於ては本州のほゞ中央部(北緯三六度附近の福井)を選びて説明せん。

(イ) 印度にては低緯度地方の特色を示し、全年を通じて氣温の變化少く、四五月の頃と九月とに高温を示し、一月と七月とに低温を示す。これ三月、九月に太陽は赤道を横斷するを以て低緯度地方に於ては日射量の多きこと一年に二回あること、六月、十二月には太陽は最も斜の位置にありて日射量少きによる。其の日射量に多少ありて後、氣温の上昇又は下降が一ヶ月或は二ヶ月後、は輻射の後、に起因す。而して概ね氣温に

變化少きは太陽の日射量に變化の少きによるものとす。

(ロ)日本に於ては海洋性温帯氣温の特色を示す。即ち全年を通じて氣温の較差は低緯度地方よりも大なれども、内陸的温帯地方よりも小、二月或は一月に最低、八月に最高を示す。これ北半球に於ては十二月に太陽の直射角最小にして六月に最大となり、従つて日射量に差を生ずるによる。日射量に變化ありて後、約二ヶ月後に氣温の高低を見るは我が國が周圍海を繞つて、六月に梅雨の現象あるに起因す。但し、日本の氣温變化につきては大陸の影響をも考へざるべからず。

(ハ)西比利亞は概ね高緯度地方の大陸なれば氣温變化も亦其の特色を示す。即ち一般に日射量少きが故に氣温は低し、而して夏季に於ては日本等の氣温に比しても其の差比較的少けれど冬季に於ては甚だ差異あり。一八八五年に於て攝氏〇下六十八度に下りしことありさいふ。かくの如く寒暑の差大なるは陸塊の影響を受くること大なるものにして大陸氣候の特色なり。尙最低が一月に、最高が七月にあらはるゝは海洋性の氣温變化と異なる點にして、陸塊が海洋に比し冷却も受熱も速なることを示すものなり。

問、濠太利亞大陸の内地が沙漠・草地をなす原因につきて御說明を乞ふ。(廣島市愛讀者)

答、主要なる原因は(1)大陸が回歸線附近に位置すること(2)地形によること(3)の二つである。回歸線の附近は貿易風帯に屬するが、この風は高緯度の地より低緯度の地に向ふを以て温度の上昇と共に絶対湿度には變化なくとも特別に濕氣の供給なき限り

比較湿度に減少を來し乾燥なる風となる。これ貿易風帯に草地・沙漠の多き原因にして南米のアタカマ・濠洲・アフリカのカラハリ北米のコロラド地方、亞細亞の内地よりアフリカ北部等に於て多くの好例を見る。濠洲は南半球にあるを以て東南貿易風帯に屬し、東南海岸に卓越する貿易風は暖流上を進行し來るを以て濕氣に富むが、大陸東部のオーストラリアアルプ山脈を越えるに當り温度の下降するにつれて比較湿度に増大を示し、東斜面には多くの雨を降らし西斜面を吹き下るにつれ氣温上昇と共に漸次に湿度は減少し乾燥な風となる。これ濠洲の内地に草地・沙漠を見る主因である。

尚、濠洲の西部には寒流上を進行し來る西風が卓越すればこの風は西岸に降水を與へる外、内地には影響は少ない。(以上、上治)

問、北海道噴火灣の成因(富知縣N生)

答、陥落によるものである。加藤教授の駒ヶ岳火山調査報告によると北海道西南部に於て大體西北―東南及び東北―西南の二つの方向に地質構造線があつて、海岸線の方向が之に一致する部分が多い。噴火灣内の大體の海岸の形を見るにこれらの方向に沿ふて陥落の行はれた跡だと考へることが出来る。

問、京兆及特別區域とは如何なることか(群馬縣好地生)

答、從來支那の行政區劃は明代に京師、南京の二直隸并に山東、山西、河南、陝西、四川、江西、湖廣、浙江、福建、廣東、廣西、雲南、貴州の十三布政司があり、これに省を置き、省に府及直隸州を置き更に州、縣といふ我國の郡の大きさの行政單

位があつたのを清朝が踏襲して南直隸を廢して江南省とし後これを江蘇、安徽の二省とし、陝西から甘肅を分ち、湖廣を湖北湖南の二省にしたから支那本部が直隸(北)と共に十八省となり、東三省、新疆を加へて二十二省となり、蒙古と西藏は外藩とした、省の下に府、直隸州、直隸廳があり、府及び州の下に、縣、廳を置いたから最下級の行政單位は或は州或は縣、或は廳といふ名であつた。中華民國になつてこれを改良して、すべて縣にした、然るときは省の下に直ちに縣といふ單位行政區が出来ると事務の敏捷を欠くので、舊の府又は直隸州に當る中間行政區に道といふものを設け、省に省長、道に道尹、縣に縣知事を置くことにした、これで余程さつぱりした行政系統になつたのである。でこの道に當るもの、名稱はいろいろ歴史から工夫して名をつけたもので、北京を中心にした區域は、日本ならば畿内といふ處を今度改めて「京兆」といつてこゝ丈けは道といはない、其行政長官を京兆尹といふ、其駐在地は北京である。

つぎに特別區域といふのは、直隸、山西、四川の三省の邊境にあります、直隸、山西と蒙古との境は長城ですが、今日では長城以外に漢人が移住し蒙人から土地を租借して農業を営んでゐて其人口増加の勢は恐ろしいものがある、故にこゝに特別區を設定して「縣」を置き縣知事をして其地に住居する漢人を支配させてゐます、しかし土地は蒙古王族の土地ですから、蒙古人も居ります、蒙古人は蒙古の都統の命令をうけて居るので、この特別區には、舊の外藩の行政と、新しい侵入漢人の行政とが

混合してゐるのである、熱河特別區域、察哈爾特別區域、綏遠特別區域の三つがそれで、現在漢人の移住日に多き方面である。四川省の方も其の隣國西藏の方へ漢人の移住がすすんでゐるので、清朝時代の四川省の境界線を西に越えて西藏の東半部ブラマプートラ河及其支流尼洋河までを川邊特別區域として三十有餘の縣を設定してゐるので、この部分も亦西藏人ば西藏に従ひ、漢人は民國の政令を奉じてゐるのです。參考として中華民國新區域圖(上海商務印書館定價三元四角)を求められん事をおすゝめします。(M)

つ の ぶ え

○地球學團員で本誌の寄稿家である横濱高商教授下田禮佐君は三月十五日歐米地理學研究の爲に出發された。

○昨年まで永い間農商務省地質調査所長であつた井上禮之助博士は旅順工科大学長に任命されて三月中旬赴任された。

○本誌を編輯して居る京大地質學教室では今回初めての卒業生六人を出した。

○日本地理學會で編輯する月刊誌地理學評論が三月から發刊された。總てが研究的記事で滿されてゐる。殊に卷頭論文なる山崎博士の房總半島東南部に於ける傾斜地塊は先生の *Region* の方面を遺憾なく現はしてゐる。我地球團員一同は又一人のよき兄弟を得たことを心から喜ぶ。發行所東京古今書院、定價五拾錢